



鉄道高架化通信



第32号

令和5年8月発行
発行：豊田市建設部街路課

～高架本体工事が本格化しています～

工事中の通路について

先月の通信にて、高架本体施工のための工事中の通路（搬入口）を紹介しましたところ、沿線にお住まいの方からご質問をいただきましたので補足します。工事中の通路（搬入口）は、主に日中、鉄道西側の側道から仮線を横断して工事中の車両が現場内へ入場することができ、工事期間も大幅に短縮されることから設置しました。設置場所は、構築する構造物の配置に合わせて決めています。

概ね、200mごとに1か所の搬入口が必要であり、4か所ある一般の踏切と今回設置する6か所の工事中の通路（搬入口）で対応していきます。工事中の通路（搬入口）には、電車の運行や工事作業員の安全確保のため、警報機や遮断機などの保安設備を設置し、一般の踏切同様に点滅し、音が鳴ります。

運用についてですが、**工事中の通路の使用時間は原則午前8時30分から午後4時30分までです。したがって、警報機や遮断機などの動作も同時間帯です。**

工事中の通路周辺にお住まいの皆様には大変ご迷惑をお掛けしますが、ご理解ご協力をお願いします。



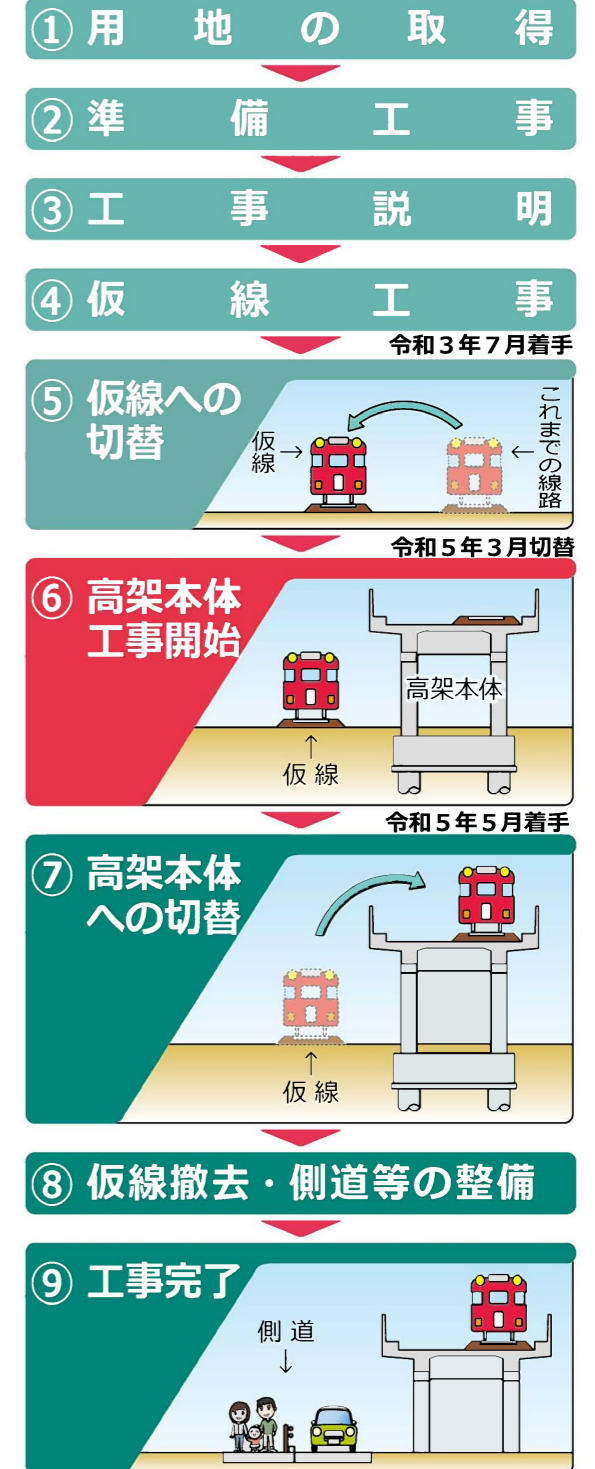
環境調査について

令和5年3月の仮線切替及び令和5年5月の高架本体工事着手に伴い、列車走行音や揺れ、工事に伴う揺れの調査を実施します。作業員が計測機器を設置し、測定を行います。ご理解ご協力をお願いします。

業者名：中日本建設コンサルタント(株)
期間：令和5年8月～令和6年3月



事業スケジュール



ロータリーの使用方法について

高架本体工事に伴い、若林駅の駅舎前のスペースが利用出来なくなり、隣接のロータリーに送迎車が集中し、特に夕方や雨天時に混雑します。駅への送迎の際は、ロータリーでの停車時間を少なくしていただくとともに、極力出入口付近での停車を避け、効率の良いロータリーの利用にご協力をお願いします。事業完了までは、ご不便をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いします。

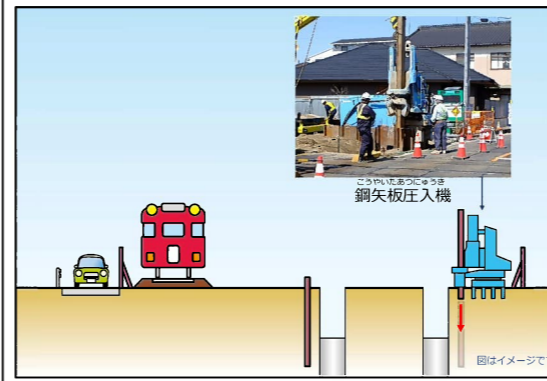


高架本体工事について

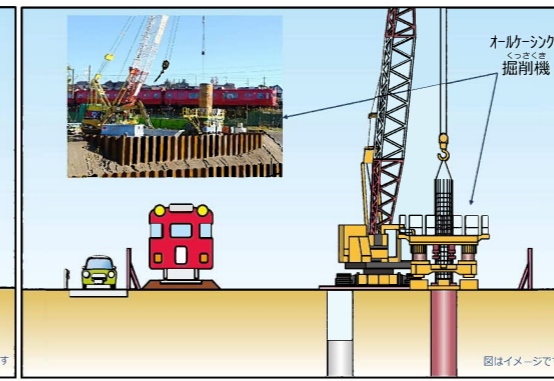
令和5年5月末から、順次、高架本体工事に着手し、現在、一部工区で鋼矢板の圧入工事が始まりました。

8月中旬以降は、6つの工区において、杭打ち工事も始まり、高架本体工事が本格化します。機械作業音や揺れなどにより、近隣の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いします。

<鋼矢板圧入工事>



<杭打ち工事>



ちょっと途中下車

～いつもと違う車両が走っています～

仮線切替から少し経ち、豊田市駅で電車を待っていると興奮気味の子供たちの歓声が聞こえてきました。知立方面に見慣れない車両が入線し、喜んでいました。電車の車内は新車のようにきれいで先頭車両は大きなガラス張りとなった車両でした。後日、名鉄の方に伺うと、名古屋本線で運用されていた車両が、ワンマン運転仕様に改造され、三河線で使われたとのことでした。運が良ければいつもと違う車両がホームに入ってくるかもしれません。このことをきっかけに、鉄道高架化通信のタイトルのイラストも30号から一部車両を入替えました。お気づきになりましたか。

新規投入車両



運用中車両



問合せ先

豊田市建設部街路課 建設第3担当
電話番号：0565-34-6651（直通）
FAX番号：0565-35-8196
メール：gairo@city.toyota.aichi.jp